

2014 年 10 月 19 日 「文 善進様ご夫妻 御来日の恩恵」 徳野英治会長

本日は「徳野会長特別メッセージ」の視聴と、石川教会長のお話でした。

以下に、徳野会長のみ言の要旨を掲載いたします。

＜会長のメッセージ＞

成功裏に終えた文善進様御夫妻の巡回ツアー

日本統一教会創立 55 周年に当たり、真のお母様の代身として世界平和統一家庭連合の文善進世界本部長御夫妻をお迎えし、「青年学生 1 万人大会」(9/23)をはじめ「日本統一教会創立 55 周年記念大会」(10/1) まで 4 つの大会が開かれました。

主賓として善進様は真の父母様の基調講演文を代読されたほか、最後の大会直後には先輩家庭の集いや晩餐会も行われ、善進様の日本巡回ツアーは大成功でした。

今回、善進様に侍りながら、私が感じた 8 つのポイントと、大会に参加した VIP の感想、さらに大会後、韓国にいらっしゃる真のお母様に巡回ツアーを報告した際の感想も紹介します。

善進様巡回ツアーを通じて実感した 8 つの恩恵

善進様を通して感じた恩恵は次の 8 つです。

その 1 番目として、真のお母様の代身として来日された善進様は、「お母様をお迎えしたい」との一念で苦勞している日本の食口たちの心情をよくご存じであり、食口たちに直接会ってお話したいというお母様の心情も伝えてくださったことです。

2 番目に、善進様は絶えず「自分は何の資格もない者です。お母様の代身として立っていること自体が申し訳ないことです」と謙遜な姿で捉えていらっしゃり、私たちを愛してくださったということです。

3 番目に、善進様をはじめ、真の子女様方は、み旨のために日本の食口たちが苦勞して歩んでいることを痛いほど理解されていらっしゃいました。

4 番目に、私たち祝福家庭の不足ゆえに子女様方は多くの十字架を背負っておられるにもかかわらず、善進様は絶えず私たちに、「皆様のような一世からたくさんのことを学ばなければなりません。教えてください」と語られ、ご自分がお生まれになる前から父母様に侍り、信仰を貫いてきた一世たちを尊敬し、学ぼうとされるのです。

5 番目に、真の父母様を慕って涙ながらに基調講演文を代読される善進様から、父母様を喜ばせてさしあげたいという孝行娘としての心情が伝わってきます。その姿に食口だけでなく、参加した多くの VIP たちも大変感動していました。

6 番目として善進様は、お母様のご苦勞を私たちに心情的に証してくださいました。善進様は、特に真のお父様が霊界に行かれてから今日まで、み旨の重責に耐えながら、お父様と一体となって雄々しく立たれるお母様の心情の世界を証すという、真の父母様の心情の伝達者として、摂理的に重要な役割を果たしておられます。

7 番目に、福岡で福岡鮮鶴合唱団が「真のお母様の前で歌いたい」との一途な思いで涙ながらに歌い、その二世たちの美しい心に善進様は感動していらっしゃいました。合唱を終えたメンバーたちは、控え室でみな泣き崩れたそうです。お母様の代身として立たれる善進様を通して、「真の母」の愛の心情を痛感したのです。

8 番目に、創立 55 周年記念大会直後に日本の先輩家庭の集いが開かれ、43 双、777 双の約 40 人が集う中、善進様は先輩家庭に対するお母様の深い信頼と切なる願いを証されました。

真のお母様への報告を通じて感じた 3 点

大会を終えてすぐに私たちは、日本を代表して天正宮博物館にいらっしゃる真のお母様をお訪ねし、善進様の大会の報告をしました。そのとき感じた 3 つのポイントをお伝えします。

1 番目は、世界本部長として善進様がお母様の代身としての役割を見事に果たされたことを、お母様はとても喜ばれ、安心されていました。

2 番目に、お母様の中にある青年や学生、二世圏に対する熱い思いを感じました。二世圏をよく準備することが未来に対する最高の備えです。

3 番目に、先輩家庭に対してお母様は、地上生活の最後の瞬間まで、天の前に変わる事のない「絶対信仰、絶対愛、絶対服従」の基準を貫き、名門家庭になってほしいとの願いをもっていたらっしゃることです。

今後の内的姿勢と展望

私たちは、お母様の精神的な重荷を察して、お支えしなければなりません。真の孝子・孝女となり、日本での伝道や教育、祝福の推進を通してお母様に喜びをお返ししながら、1 億 2000 万全国民に向かって真の父母様を宣布しましょう。

(以上 KMS 中和新聞より転載)